

宮城県工業高等学校知財授業

1. 日 時 令和4年12月15日（金） 8:40~10:30
2. 主 催 宮城県工業高等学校
3. 場 所 宮城県工業高等学校（宮城県仙台市青葉区米ヶ袋3丁目2-1）
4. 講 師 木下 忠 弁理士（日本弁理士会東北会）
5. 出席者 生徒40名
6. 内 容

宮城県工業高校情報技術科の1年生を対象に、特許データベース「J-PlatPat」の活用方法と、先行技術からの差別化のコツに関する授業を実施しました。この授業は、情報技術科の学生が来年度のパテントコンテストに出場するための準備の一環として、彼らの日常に潜む問題や課題から新しいアイデアを生み出すことを目的としています。

今回の授業では、生徒たちが考案した発明アイデアを基に、J-PlatPatを使った先行技術の調査方法を学びました。特許分類（FI、Fターム、IPC）についての基本的な説明に始まり、テキスト検索やパテントマップガイダンスを用いて関連する特許分類を特定し、その分類を基にJ-PlatPatで先行文献を絞り込む手法を解説しました。生徒たちは、各自のPC端末からJ-PlatPatを操作し、実際の検索演習を行いました。

先行技術との差別化の重要なポイントは、自身の発明に最も近い技術を理解することです。特許分類を用いた先行文献調査により、効率的に先行技術を発見し、今後の授業で学生たちのアイデアをさらに磨き上げることができると感じました。

授業終了後も1時間程、担当教員（若松先生／津田先生）とのディスカッションで、より具体的な調査方法や今後のアイデア創出の授業進行についてのアドバイスを求められました。この授業を通じて、担当教員の知財についての思いが強く、さらに生徒たちがパテントコンテストへの積極的な参加を検討していることも明らかになりました。

日本弁理士会東北会 木下 忠

